



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 日本ピラー工業株式会社
 コード番号 6490 URL <http://www.pillar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩波 清久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 村井 一久

TEL 06-7166-8248

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	23,605	12.9	4,301	20.5	4,385	21.5	3,145	29.9
30年3月期第3四半期	20,899	8.5	3,570	0.3	3,609	2.6	2,422	2.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,569百万円 (16.3%) 30年3月期第3四半期 3,069百万円 (22.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	128.68	
30年3月期第3四半期	99.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	52,463	41,615	79.3
30年3月期	51,539	39,834	77.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 41,615百万円 30年3月期 39,834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		17.00		19.00	36.00
31年3月期		20.00			
31年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	4.5	5,200	0.7	5,200	0.8	3,600	5.2	147.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	25,042,406 株	30年3月期	25,042,406 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	595,093 株	30年3月期	594,933 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	24,447,401 株	30年3月期3Q	24,447,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用情勢の改善傾向が続くとともに、設備投資も増加し、景気は緩やかに回復しております。また、世界経済も欧米を中心に全体としては緩やかに回復しているものの、米中間の貿易摩擦や各国の政策に関する不確実性による影響などの懸念があり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、産業機器関連事業では、国内の電力を中心としたエネルギー市場は新規設備投資が少なく厳しい状況が続いておりますが、海外案件での補修品の取り込みにより、売上高は前年同期比微増となりました。また、電子機器関連事業においては、半導体・液晶製造装置市場は引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期比増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高236億5百万円（前年同期比12.9%増）、営業利益43億1百万円（前年同期比20.5%増）、経常利益43億85百万円（前年同期比21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益31億45百万円（前年同期比29.9%増）となりました。

連結売上高をセグメント別に見ますと、産業機器関連事業は76億57百万円（前年同期比1.9%増）、電子機器関連事業は158億84百万円（前年同期比19.3%増）、その他部門（不動産賃貸等）は63百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

また、営業利益のセグメント別につきましては、産業機器関連事業は9億45百万円（前年同期比8.2%減）、電子機器関連事業は33億37百万円（前年同期比29.0%増）、その他部門（不動産賃貸等）は25百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の増加等により前期末比9億24百万円増の524億63百万円となりました。また、有利子負債（リース債務は除く）は、前期末比4億4百万円減の12億5百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等により前期末比17億80百万円増の416億15百万円となり、自己資本比率は79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、現時点において決算発表時（平成30年5月9日）に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,153	11,492
受取手形及び売掛金	8,332	7,668
電子記録債権	4,453	4,925
商品及び製品	710	1,357
仕掛品	1,227	1,455
原材料及び貯蔵品	675	825
その他	273	392
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	28,821	28,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,930	13,020
機械装置及び運搬具(純額)	1,545	1,912
土地	5,114	4,832
その他(純額)	1,518	584
有形固定資産合計	18,107	20,349
無形固定資産	105	172
投資その他の資産		
投資有価証券	4,020	3,307
その他	503	543
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	4,504	3,831
固定資産合計	22,717	24,353
資産合計	51,539	52,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,137	3,545
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	527	452
未払法人税等	1,005	384
賞与引当金	798	390
資産除去債務	191	41
その他	3,099	3,427
流動負債合計	8,960	8,441
固定負債		
長期借入金	882	553
退職給付に係る負債	1,493	1,525
資産除去債務	141	99
その他	226	228
固定負債合計	2,743	2,406
負債合計	11,704	10,847

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,966	4,966
資本剰余金	5,190	5,190
利益剰余金	27,966	30,324
自己株式	△465	△465
株主資本合計	37,657	40,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,818	1,232
為替換算調整勘定	318	322
退職給付に係る調整累計額	40	45
その他の包括利益累計額合計	2,176	1,600
純資産合計	39,834	41,615
負債純資産合計	51,539	52,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	20,899	23,605
売上原価	13,272	15,168
売上総利益	7,626	8,437
販売費及び一般管理費	4,055	4,136
営業利益	3,570	4,301
営業外収益		
受取配当金	66	75
その他	26	31
営業外収益合計	93	106
営業外費用		
支払利息	4	4
為替差損	1	10
固定資産処分損	44	3
その他	3	2
営業外費用合計	54	22
経常利益	3,609	4,385
特別利益		
固定資産売却益	—	596
投資有価証券売却益	—	6
特別利益合計	—	602
特別損失		
減損損失	22	255
固定資産売却損	—	4
工場建替関連費用	108	78
特別損失合計	130	338
税金等調整前四半期純利益	3,478	4,649
法人税、住民税及び事業税	975	1,294
法人税等調整額	80	209
法人税等合計	1,056	1,503
四半期純利益	2,422	3,145
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,422	3,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,422	3,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	574	△585
為替換算調整勘定	45	4
退職給付に係る調整額	27	5
その他の包括利益合計	647	△576
四半期包括利益	3,069	2,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,069	2,569

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、上海ピラートレーディング有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。また、第2四半期連結会計期間において、ピラー電子設備(上海)有限公司を設立し、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,515	13,319	20,835	63	20,899	—	20,899
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,985	2,458	4,443	12	4,455	△4,455	—
計	9,501	15,778	25,279	75	25,355	△4,455	20,899
セグメント利益	1,030	2,587	3,617	23	3,641	△71	3,570

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△71百万円は、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△72百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業機器 関連	電子機器 関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,657	15,884	23,541	63	23,605	—	23,605
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,526	3,057	5,584	12	5,596	△5,596	—
計	10,184	18,941	29,125	75	29,201	△5,596	23,605
セグメント利益	945	3,337	4,282	25	4,308	△7	4,301

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去0百万円及び棚卸資産の調整額△7百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。